

# 電力小売管理システム

塚田路治\*  
田中俊行\*  
井上俊宏\*

Operational System for Power Producer and Supplier

Michiharu Tsukada, Toshiyuki Tanaka, Toshihiro Inoue

## 要旨

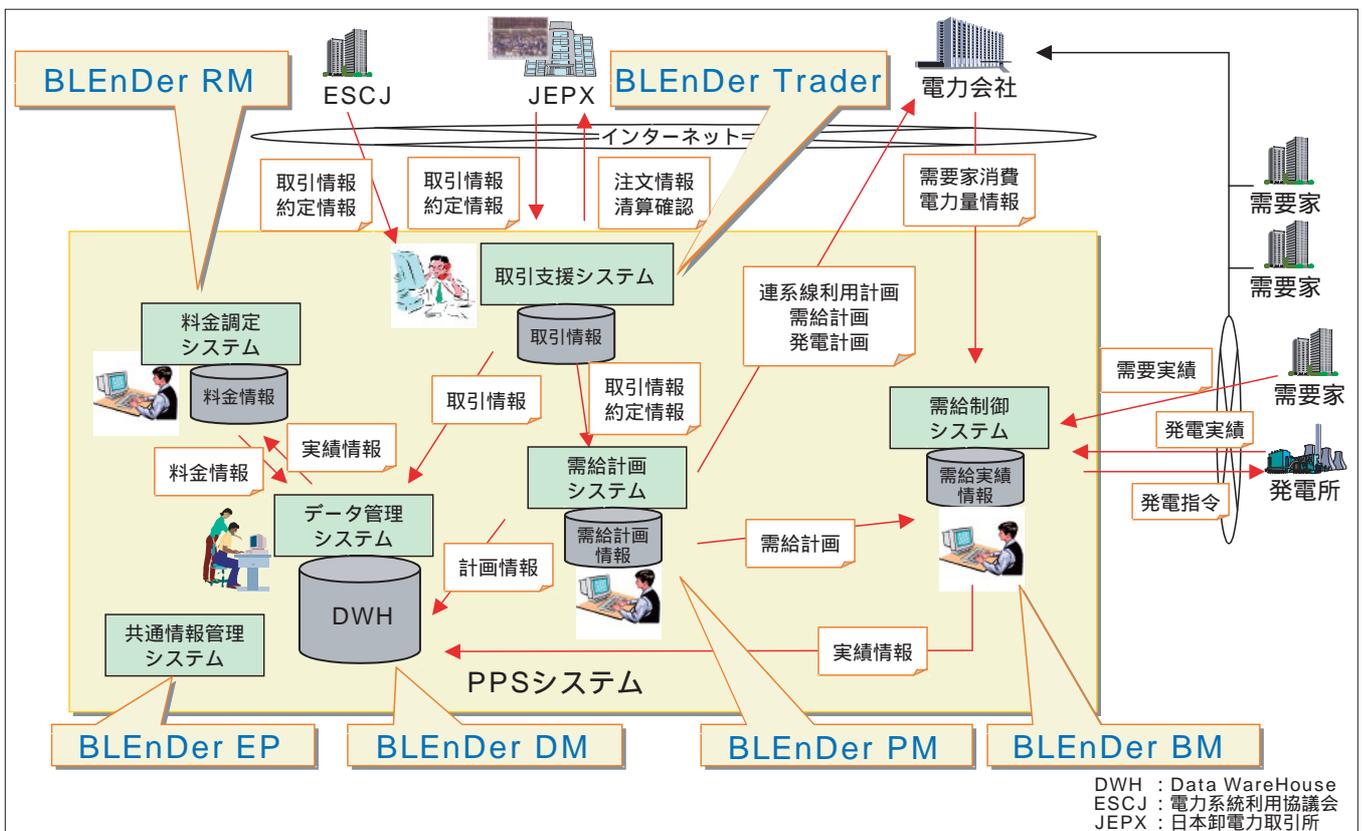
2000年3月に大口需要家を対象とした電力小売の部分自由化が開始され、特定規模電気事業者(Power Producer and Supplier: PPS)が需要家に電気を供給するようになってから約5年が経つ。三菱電機では、PPS向け電力小売管理システムを早期に開発し、顧客にシステムを納入してきた。

当初、電力小売管理システムは、同時同量監視制御を中核とした機能であったが、近年、制度の変更やPPSが連係する外部システムが増えてくることにより、電力小売管理システムも様々な機能を備えるようになった。

そこで、当社はPPSが必要とする機能をパッケージ単位

に分けて、PPSのニーズに応じて必要なパッケージを柔軟に組み合わせたシステムを構築して提供している。現在、PPS向けのパッケージとしては、同時同量監視制御を行う“BLEnDer BM”，需給計画を作成する“BLEnDer PM”，料金調定を行う“BLEnDer RM”，データの蓄積管理を行う“BLEnDer DM”，システム間共通情報の一元管理を行う“BLEnDer EP”の5つのパッケージが存在する。

本稿では、当社がPPS向けに開発したパッケージのラインアップ、及びこれらのパッケージが動作するハードウェア環境、ソフトウェア環境について述べる。



## 電力小売管理システムを構成するパッケージソフトウェア

電力小売管理システムは、同時同量監視制御を行うBLEnDer BM，需給計画を作成するBLEnDer PM，料金調停を行うBLEnDer RM，データの蓄積管理を行うBLEnDer DM，システム間共通情報の一元管理を行うBLEnDer EPの5つのパッケージソフトウェアで構成されている。